レッツトライ!レッツチャレンジ!
おだか
進んで　粘り強く　最後まで
歩く
南相馬市　小高区４小学校
学校便り
第　３０　号
２０１８．１２．７

小高区4小学校体力･運動能力調査結果

１　調査内容

（１）体力調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、２０ｍシャトルラン、５０ｍ走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

（２）生活習慣アンケート調査

２　調査結果

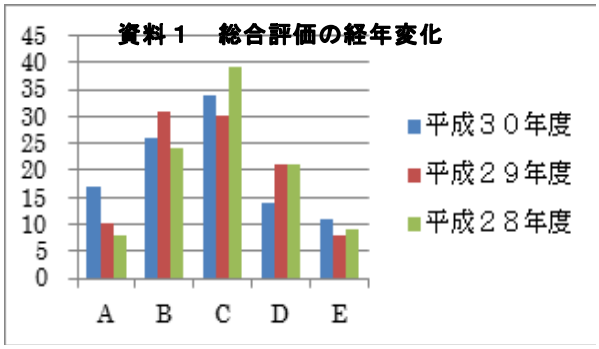
（１）体力調査（県平均との比較）

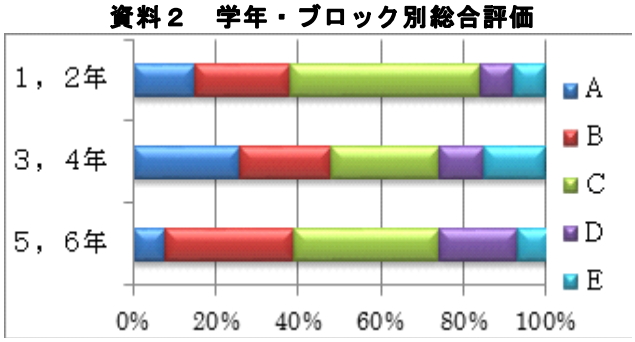
＜各種目の数値について＞

○　以下の種目については、ほとんどの学年が昨年度と同様に全国の平均値より高い数値、もしくは同程度の数値でした。

男子→長座体前屈　　女子→握力、反復横跳び、立ち幅跳び、ボール投げ

●　２０ｍシャトルラン、５０ｍ走といった走力が関わる種目については、女子が全国平均との差を徐々に縮めている傾向が見られましたが、男子は全国平均を大きく下回る学年が多く、継続して体力づくりを進めていく必要を感じます。





＜総合評価について＞

○　資料１から、過去３年間と比較して、今年度はＡとＢを合わせた割合の増加に伴い、ＣとＤを合わせた割合が減少しており、学校全体としては徐々に体力の向上が見られ始めていると考えられます。

●　資料２から、学年・ブロックによってはＡ評価が少なく、ＤとＥの評価が多くなる傾向にあることが分かります。学校全体だけでなく、各学年でも実態に合った体力づくりを自校化し、共有していく取り組みが必要であると思われます。

（２）生活習慣アンケート調査

○成果が見られた項目

・１日の運動・スポーツの実施時間は、「２時間以上」または「１～２時間」と回答する児童の割合が１０％以上増加しており、意欲の高まりが見られます。

●課題が見られた項目

運動・スポーツの実施状況

・「週３日以上運動する」と回答した児童の割合は昨年度と同程度でしたが、「運動しない」と回答した児童もいることから、運動習慣の二極化が見られます。

３　体力向上の取り組み

・授業の充実（運動身体づくりプログラム）
・チャレンジエリア（運動遊びの場所）の活用
・「はりきりタイム（業間運動）」や「ふれあいタイム」の充実